北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No17
文責　芹川博文
9月3日（火）

前回に引き続き**「夏の収穫」シリーズ第２弾**をお届けします。今回も、「本物」に触れた生徒たちの熱い思いを紹介します。お互いの姿から何かを感じ、磨き合い、「刃を研ぐ」北中をめざしてほしいと願います。　※前回（「その１～３」）の続きで、今回は「その４」と「その５」です。

「互いに磨き合う 刃を研ぐ」その４　菊池市子ども議会で発表して

北中からの提言①　「菊池市に集まれ！　～移住定住促進サポートシステム～」

外部からの移住定住が進められている菊池市。そこで、ごみ捨てのルール等の間違いなど移住者が困らないサポートシステムの構築を提案します。また、菊池市は各家庭の防犯意識が低いと感じます。日中に家の鍵を閉めない家も多いようです。近所の人でない人が危害を加えるかもしれませんし、実際、空き巣事件も増えていると聞きます。放送などを通して防犯意識を高める呼びかけを行ってほしいと思います。

発表後の感想（一部抜粋）

〇山本 龍之介 さん
　自分の考えたことを生かし、自分の言葉で発表することができたと思います。そして何よりも、仲間と協力して乗り越え、発表できたことをうれしく思います。できれば今日発表したことを実現していただければ幸いです。

〇畑　美瑠 さん
　菊池市をより良くしていきたいという子どもたちであふれる市にするために、大人になったら自分たち自ら菊池市全体に対する感謝と敬意を示し、誰もが住み続けられるまちづくりをするための行動をしていきたいと思いました。

北中からの提言②　「知って！ 私の事、広げよう！ 市民の思いやりの心」

内部障害・妊娠初期など見た目だけでは理解されない悩みを抱えた人や、支援を必要とする人々に対して理解と配慮を示すヘルプマークの知名度を上げ広めることで、市民全体がより協力し合えるまちづくりを進めることになると思います。また、知名度を上げるための菊池市独自のヘルプカードやキーホルダーの作成を提案します。例えば、菊池市民に馴染みのある菊池一族などを用いてはどうでしょうか。

発表後の感想（一部抜粋）

〇野満 葉南 さん
　自分たちの意見が伝わった感じがしてやりがいを感じました。私はまだまだ菊池市のことを知らなかったので、もっと知る機会を作って知っていき、菊池市の魅力を知らない人たちに伝えていこうと思いました。

〇松岡 美穂 さん
　自らの困っていることを題材として通告書を書こうと決めた時は、少し書き方に迷いましたが、先生や友達のおかげでスムーズに作成が進みました。議会中は、正直ふるえが止まりませんでした。ですが、開始前に先生方が言われた「自分の伝えたいことをはっきりと伝えてきなさい」という言葉が自信となりました。

「互いに磨き合う 刃を研ぐ」その５ プラチナ未来人財育成塾派遣に参加して

毎年、菊池市の５つの中学校から代表生徒が参加するプラチナ未来人財育成塾。今年も８月７日（水）～１１日（日）の５日間、東京で様々な著名人の講話や全国から集った同年代との交流を通して学んできました。本校から参加した元村 結愛さんに感想を尋ねた際の一部を紹介します。

　まだ実感はしていませんが、考え方が変わったと思います。今までは、物事を正面からのみ見ていた感じです。しかし、斜めや別の角度から見ることで見え方も変わってきます。私はこれまで、悪いことは見ない傾向がありました。しかし、悪いからこそ見ていく、そこを見つめることで課題を解決していくことが大切だと思いました。人に対しても同じで、それぞれの苦手なところを、逆に、どううまく生かしていくか、そのことが北中生徒会テーマの「My color」にも繋がっていくと思います。
　今回、東京で研修を受ける中で、改めて北中の良さを感じました。北中校区の人の良さや北中の木造校舎の良さを、もっともっと伝えていきたいと思いました。